

聖霊降臨節第三主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前奏 (黙禱)
「とうときわが神よ」(讃美歌21の12番)
J.Ch.H.リンク作曲

あいさつ
讃美 讃美歌 21/353 番
開会の祈り
交読詩篇 詩編119篇(ギメル)

【第一部 み言葉の礼拝】

聖書
✦使徒言行録4章5~14節
✦マタイによる福音書10章26~31節
(新P.219、新P.18)
応答唱 讃美歌 21/46 番
教話 井上隆晶牧師
『天下にこの名のほか』
使徒信条

【第二部 聖餐礼拝】

奉献 讃美歌 21/81 番
教会の祈り(連禱)
平和の挨拶
讃栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪餐

【応答と派遣と祝福】

讃美 讃美歌 21/347 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後奏(黙禱)
「心はずませ」
(讃美歌 21 の 215 番) J.パッヘルベル作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 勝見 仁
奏楽 飯田雅子
献金当番 未定
受付当番 井上万里子

【本日の予定】

◇教会学校(朝9時30分)
・お話し: 井上万里子
◇讃美歌練習(礼拝後)
◇合同祈祷会(礼拝後)
◇昼食(礼拝後)

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り
・6月24日(火) 午前9時
・6月27日(金) 午前9時
◇英会話グループ
・6月26日(木) 午後7時30分

【次週主日6月29日のご案内】

◇教会学校礼拝(午前9時30分)
・お話し: 澤田真弓
◇主日朝礼拝(午前10時30分)
・聖書
✦使徒言行録8:1~5、26~31
✦ルカ9:23~26
(新P.227、新P.122)

・教話
『下る道に行け』
・讃美歌 21 348、46、403
・交読詩篇 詩編119(ダレト)
・司式補佐 井上万里子
・奏楽 鹿野幸枝
・献金当番 菱田朱美
・受付当番 松本貴子
◇讃美歌練習(礼拝後)
◇合同祈祷会(礼拝後)

聖句

「ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。」

(使徒4章12節)

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》: 24日(火) 午後1時「シャロン千里」、25日(水) 午前8時「拘置所面会」
- ②《7月の行事のお知らせ》
■7月2日(水) 午後2時「大阪YWCA 聖書を学ぶ会」参加費 500円
■7月6日(日) 午後1時「定例役員会」
■7月15日(火) 午前10時「心の病の勉強会」
■7月28日(月) 午後1時30分「シャロン千里礼拝」
- ③聖霊降臨祭感謝献金を献げましょう。献金目標は18万円です。皆様のご協力をお願いします。
- ④ミャンマー地震災害募金のご協力をお願いします。8月末まで募金は受け付けます。何度でも募金をして下さっても大丈夫です。
- ⑤【祈禱課題】
●新しい礼拝堂を建築するため。
●ウクライナとガザの戦争被災者のため。
●拘置所・刑務所にいる兄弟と家族のため。
●子どもたちの健康のため。
- ⑥【先週の集会統計】

日	集会	男	女	大人	計	礼拝献金
15	CS礼拝	0	1	8	9	¥3,400
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
15	朝の礼拝	9	12	2	23	¥11,050
17	朝の祈り	2	6	—	8	
20	朝の祈り	2	3	—	5	

⑦【6/15の献金報告】

[月定] 小坪英恵、澤田真弓(計15,000円) [ペンテコステ] 小坪英恵、澤田真弓、鹿野幸枝、畑季史子、菱田朱美、山千代憲一(計38,000円) [ミャンマー募金] 屋宮英男、小淵公子、小淵賀裕(計3,000円) [夏期特別](計円) [感謝](計円) [建築] 小坪英恵、澤田真弓(計5,500円) [互助] 小淵賀裕、澤田真弓(計2,000円)



【先週の説教要旨の続き】

▼(ヨハネ14:23、24)と言われたからです。ここでもペトロの「立ち上がり、歩きなさい」という言葉に「いいえ、出来ません、無理です」と答えるのではなく、彼は実行したのです。すると立てたのです。先日、大阪基督教生命堂という中国人の教会に説教に行ってきました。数年前まで天神橋筋商店街の中にある小さな教会でしたが、それがみるみるうちに大きくなってここに移転しました。立派な礼拝堂で、一日に何度も礼拝があります。朝の祈りの後、皆で朝食をいただいたのですが、その時一人の信者さんから小さな「み言葉おみくじ」をもらいました。東京のある修道院のシスターが、聖書の言葉を多くの人に知ってもらいたいと思って作ったものです。巻物のようになっていて、何が当たるか分かりません。私がもらった巻物を開くと「神にできないことは、何一つない。」(ルカ1:37)と書かれてありました。今の私の心を見抜いているようで、ドキッとしました。み言葉を自分に言われているように感じたのです。今、私たちは新しい教会建築をしようとしています。27坪の土地なのだから、この現実に合わせてというのでは、何か違うのではないかと思ったのです。私たちにはこれだけのものが必要なのです。主よ、どうかお与えください、でなければ信仰ではないのではないか、と思ったのです。そんな私に迫ってくる言葉でした。その信者さんがいうには、不思議とその人にぴったりの言葉が当たったということです。神の言葉は、すべて自分に対して言われています。それを聞くだけでなく、実行しましょう。その時、奇跡が現れ、主イエスが共にいてくださることが分かるのです。

